

トップメッセージ

基本理念

もっと社会に役立つ

もっとお客様に喜んでいただける

もっと地球に優しい企業グループ

そして「ゆとりとやりがい」



代表取締役 会長執行役員

代表取締役 社長執行役員

野澤 宏

坂下 智保

「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつける イノベーション企業グループ」を目指して

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
第48回定時株主総会を2018年3月16日（金曜日）
に開催いたしますので、ここに招集のご通知をお届けいたします。

当社グループは、人材採用の拡大、短期間での技術者育成、ビジネスパートナーとの連携強化等の体制整備に注力し、当社の基本理念である「ゆとりとやりがい」の実現に向けた生産性向上等による残業時間削減や重点技術「AIS-CRM」^(※)等へ積極的に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、SI事業が好調に推移し、売上高は1,807億73百万円（前年同期比10.1%増）となりました。また、販売費及び一般管理費が323億59百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は97億7百万円（前年同期比10.3%増）と

なりました。証券系関連会社の持分法投資利益の増加等により、経常利益は102億60百万円（前年同期比11.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は57億97百万円（前年同期比15.0%増）となりました。

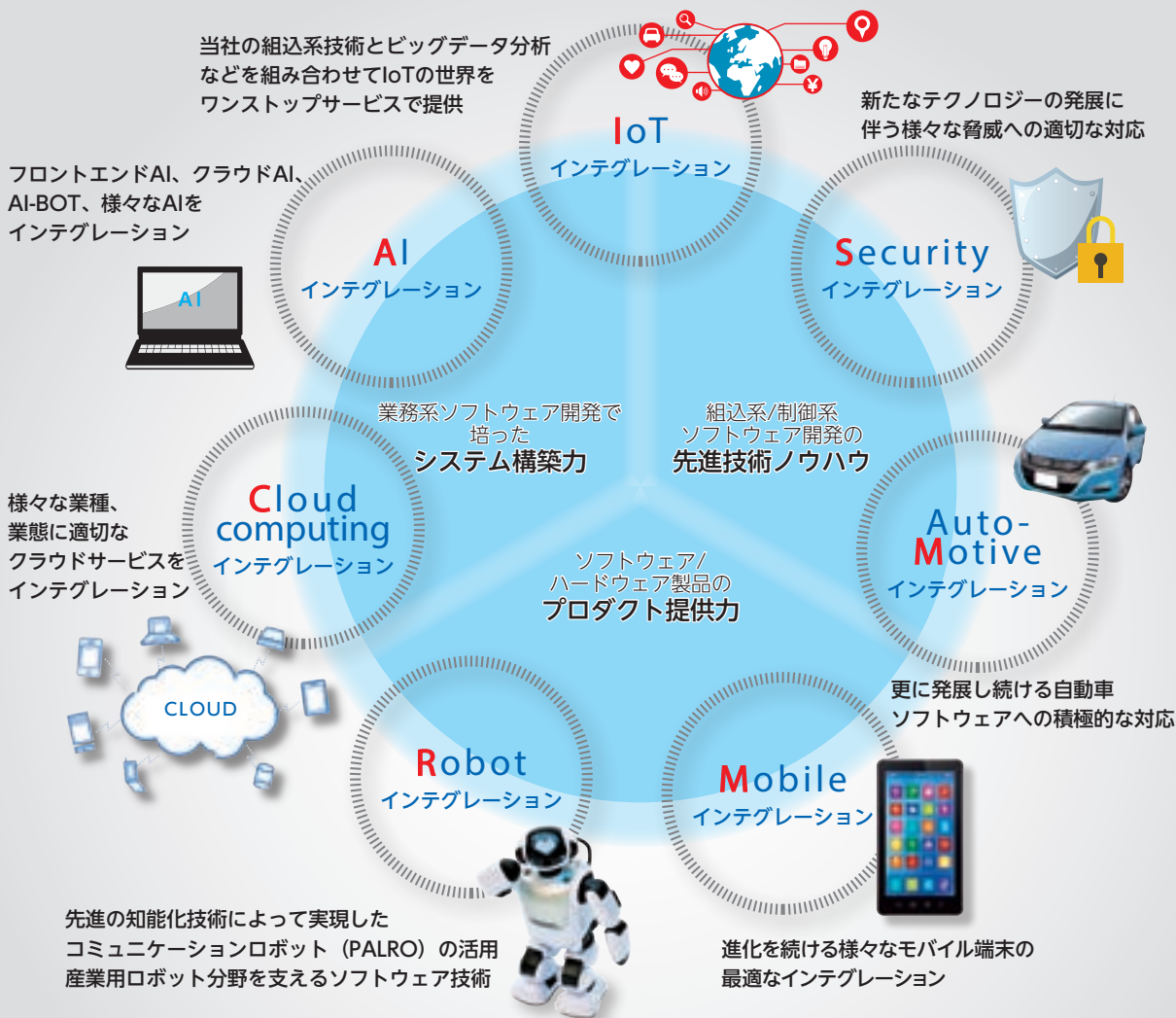
配当金につきましては、期末配当金として予想より3円増額し、1株当たり18円とさせていただきます。これにより、既に実施いたしました中間配当金と合わせて通期で前年度より3円増配の1株当たり33円となります。

2018年も、引き続き中期方針である「ICTの発展をお客様価値向上へ結びつけるイノベーション企業グループ」を目指してまいります。

株主の皆様には今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

^(※) AIS-CRM (A : AI / I : IoT / S : Security / C : Cloud / R : Robot / M : Mobile & AutoMotive) 当社が重点技術と位置づける技術領域

新技術への果敢な取り組み「AIS-CRM」



事業TOPICS

Automotive

自動運転・電動化に関する開発需要が急速に高まる中、国内有数の自動車制御ソフトベンダーとして全ての自動車業界のお客様に高品質なソフトウェアを提供しています。また、APTJ株式会社^(※1)との共同開発によるAUTOSAR^(※2)仕様準拠の車載ソフトウェアプラットフォーム「Julinar SPF」^(※3)の先行販売を開始いたしました。



- (※1) : APTJ株式会社 (Automotive Platform Technology Japan)
名古屋大学発学内ベンチャー企業として2015年設立、自動運転システム向けのSPFの開発や、セキュリティ対策の強化によるIoT等にも対応し、将来的に車載制御システム向けSPFで国際的なトップクラスのソフトウェアを目指している。
- (※2) : AUTOSAR (AUTomotive Open System ARchitecture)
車載ソフトウェアの標準化のため2003年欧州にて設立された組織、及び同組織が策定する標準仕様の総称
- (※3) : Julinar SPF (Joint development program by Users, Licensors, and Integrators for AUTOSAR-based software platforms)
APTJ社が開発している、AUTOSAR仕様準拠のSPF、及びサービスの総称で2018年秋の正式版リリースに先立ち、導入検討用に先行販売を開始

FA(工作機械)

機械制御系におけるFA(工作機械)におきまして、開発需要は引き続き高く、制御ソフトウェア開発が好調に推移しています。また、産業機器メーカーと協力した製品開発における技術支援サービスの提供等を推進しています。



Fintech

システム刷新等のニーズに対応すると共に、Fintech^(※4)等の新たな技術分野へ取り組んでいます。



- (※4) : Fintech
「ファイナンス (Finance)」と「テクノロジー (Technology)」を組み合わせた造語。一般に、IT企業の金融分野におけるサービス展開を指す。

EC分野

拡大を続けるEC分野向けソフトウェア開発やICTの最新テクノロジーを活用する流通・サービス分野や教育分野において、競争力の高い製品を提案しています。



PALRO

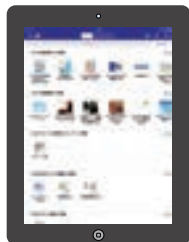
当社のAIとロボティクス技術を結集したコミュニケーションロボット「PALRO(パルロ)」のテクノロジーを、株式会社講談社がプロデュースする「ATOM(アトム)プロジェクト」(※1)に供給し、会話・二足歩行しクラウドで成長する「日本初の進化する本格的なキャラクター・ロボット」を開発する同プロジェクトに参画した他、金融機関向け業務におけるお客様対応支援としてPALROを提供する等、事業領域を広げています。



(※1): ATOM(アトム)プロジェクト株式会社講談社をはじめ、株式会社手塚プロダクション、株式会社NTTドコモ、VAIO株式会社、当社の強みを生かし、長く愛され夢を与えてきた日本を代表するロボットキャラクター「鉄腕アトム」の作成を目指すプロジェクト

moreNOTE、SYNCNEL

モバイルコンテンツマネジメント市場で業界シェアNo.1を誇る、業務効率化しながらフレキシブルな働き方が実現できるペーパーレスシステムです。タブレットやスマートフォン、PCを使用してドキュメントや動画・画像等の各種資料を手軽に共有・閲覧・編集できます。



moreReception

ICTで実現できるおもてなしと受付業務の効率化をコンセプトに、従来の課題である記帳の煩わしさ、取り次ぎ業務の手間や待ち時間などを解消できる受付システムです。2017年度グッドデザイン賞を受賞しました。



 GOOD DESIGN

+F MDM

モバイル機器市場でのニーズの広がりを背景に、モバイルルーターを遠隔から一括管理するサービス「+F MDM」(※2)の提供を開始しました。



(※2): +F MDM(プラスエフ エムディーエム)

Webブラウザによるユーザコンソールを利用して、データ通信の休止や再開、通信速度や通信量の制御、遠隔によるデバイス設定の変更や操作、接続機器の死活監視を行うことができ、通信状況の監視や不正利用の防止等のセキュリティの機能も提供するサービス

再生医療

2005年より研究を開始した「インプラント型自己細胞再生軟骨」におきまして、有効性・安全性を評価する企業治験の臨床適応が2017年に終了し、2018年に再生軟骨の提供を予定する等、着実に事業化を進めています。



招集し通知

株主総会
参考書類

添付書類

事業報告

連結計算書類

計算書類

監査報告書

(二)参考)
株主通信

富士ソフトのCSR①

地方創生への取り組み

当社は、東日本大震災発生以降、社内組織に「社会貢献室」を設置し、継続的に被災地・過疎地区での支援活動を実施しています。更に、より地域に密着した支援活動を行うため岩手県奥州市にNPO法人「IT工房ひのき」を2012年11月に設置してICTの活用による支援活動を展開しています。また、これまでに培った災害支援の経験を活かし、近年多発する自然災害で被災された地域・被災者の方々へのボランティア活動や過疎地区での里山保全活動、イベント支援活動など、活動の範囲を広げ社会貢献活動を行っています。

九州北部豪雨で被災した福岡県と大分県で 人的支援及び義援金の寄付を実施

九州北部豪雨災害で被害を受けた福岡県朝倉市と大分県日田市で、当社社員8名が4日間の人的支援及び義援金の寄付を行いました。住宅に堆積した泥のかき出し、散乱している木やゴミの清掃や土を土嚢袋に詰める作業を行いました。



里山保全活動の地域支援ボランティアに参加

NPO法人「IT工房ひのき」主催のもと、当社社員6名が、里山保全支援ボランティアとして、後継者問題や高齢化が進み、限界集落が多い福島県大沼郡金山町で草刈りを行いました。耕作放棄地を草刈りすることで、野生動物との境界線を作り鳥獣被害を減らすことができます。

岩手県でIT技術に触れるイベントを開催

当社社員4名が岩手県上閉伊郡大槌町でパソコン教室と「PALRO (パルロ)」を利用したイベントを開催し、好きな画像を使用してオリジナルのうちわを制作しました。高齢者福祉施設では、「PALRO (パルロ)」を使用したレクリエーションを実施し、IT技術に触れていただきました。



ITによる新しい農業へ参入(障がい者就労支援モデル)



当社特例子会社 富士ソフト企画(株)が、2016年10月、福島県耶麻郡西会津町に西会津しいたけファームを開設し、富士ソフトグループとして農業の空洞化及び地方創生に寄与すべく、「ITによる新しい農業」として新規参入をしております。グループが保有する技術・人材パワー・人脈を提供し、農業の空洞化対策を図り、働く場づくりを提供する事で若者の流出を防止し、更には移住者促進を西会津町と共に築き上げます。また、今後は「ITによるしいたけ栽培の品質管理」や「就労移行支援(自然を活かした生活環境と農業体験による自然治癒効果により障がい者の社会復帰モデルの実現)」を目指します。



雪かきボランティアに参加

NPO法人「IT工房ひのき」主催のもと、当社社員11名が福島県耶麻郡西会津町にて雪かきを行いました。

西会津町がある耶麻郡は豪雪地帯です。雪による建物の倒壊や落雪による事故を未然に防ぎ、お年寄りの方々が安心・安全に暮らせるように慣れない雪かきに悪戦苦闘しながらも、力の限りスコップを振り下ろし作業を行いました。

本社で集団献血活動を実施

社内で集団献血活動を実施しました。若年層の献血率が減少し、更に少子高齢化が進むと、将来血液不足が予想されています。当社は、今後も献血の普及啓発活動に取り組んでまいります。



社会貢献の活動実績:17件/42日間

雪かき支援ボランティア/雪かきとスノーレッキング支援ボランティア/ロボット体験と紙ひこうき製作inしょうわ2017イベント支援ボランティア/シニア向けパソコン教室及び仮設住宅者向けITイベント支援ボランティア/新郷富士山山開き支援ボランティア/里山保全活動支援ボランティア/企業集団献血/大船渡・西会津企業マルシェ&秋葉原東部納涼大会/夏まつりイベント支援/九州北部豪雨災害復旧支援ボランティア/過疎化地域ふるさと特産物生産支援活動/IT教育イベント/農都交流プロジェクトモニターツアー/環境美化ボランティア/子育てフェス支援とパソコン教室ボランティア/ユニセフ・ハンドインハンド募金活動

富士ソフトのCSR②

「第29回全日本ロボット相撲全国大会」、「INTERNATIONAL

「全日本ロボット相撲大会」は、ロボット作りを通して『ものづくり』の楽しさを知ってもらう場を提供することを目的に1990年より開催している国内最大規模のロボット競技大会です。



》1990

会社創立20周年を記念して第1回大会開催。国技の「相撲」と今後の先端技術となるテクノロジー「ロボット」を組み合わせ、日本のものづくりに貢献できるような事業として考案された。



》1992

両国国技館で初開催

》1993

高校生の部が設けられ、地区大会がスタート。この年より文部省（現文部科学省）が後援。

》1998

第10回記念大会で優勝した選手を海外遠征に招待。海外遠征は2001年まで計4回行われ、この活動が、世界各国にロボット相撲が広がるきっかけとなる。

》2005

ロボット相撲から派生した競技「第1回高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会」を開催。ロボットアメリカンフットボールは、ロボット同士がぶつかり合いながら一つのボールを奪い合う団体戦の競技で、今年2月には第13回大会を開催した。

ROBOT SUMO TOURNAMENT 2017]を開催しました



2017年12月に両国国技館で開催した全国大会では、全国9か所で行われた地区大会を勝ち抜いた64台のロボットが“第29代横綱”の称号をかけて熱い戦いを繰り広げました。

同日に開催した第4回世界大会「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2017」では、世界各国で開催されているロボット相撲大会の優勝者及び開催国代表が参戦。25カ国120台のロボットに日本の“第29代横綱”も加わり、世界一を競いました。

第30回大会を迎える今年は、全日本ロボット相撲大会とINTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENTを統合し、一つの大会として開催する予定です。今後もロボット相撲大会を通じて、世界の皆様が「ものづくり」にかける情熱と夢を育み、ロボットテクノロジーを習得するきっかけとして、本大会が末永く続けられるよう尽力してまいります。

ロボット相撲history

》2008

高校生の部と全日本の部の両部門で優勝した実績が評価され、三重県立四日市中央工業高等学校が第3回「ものづくり日本大賞」内閣総理大臣賞を受賞。



》2014

第1回世界大会「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2014」を開催。世界9カ国より41台のロボットが参戦。



》2017

第29回全日本ロボット相撲全国大会と第4回世界大会「INTERNATIONAL ROBOT SUMO TOURNAMENT 2017」を開催。世界25カ国より120台のロボットが参戦。

そして今年、いよいよ第30回大会を迎えます

多様な働き方で人財確保、そして人財強化へ

ワーク・ライフ・バランス

富士ソフトのコアコンピタンスは「人」。この考え方が様々な施策に反映され、社員の「多様な働き方」を支援しています。当社では、「ゆとりとやりがい」をテーマに、仕事と生活の調和を目指して、社員一人ひとりが元気に働ける職場環境の実現を目指しています。

これまでの当社の歩み

年月	内容	(所定労働時間)
1990年4月	フレックスタイム制導入	8:00H
1998年4月	標準労働時間の短縮	7:45H (9:00～17:45)
2002年4月	標準労働時間の短縮	7:40H (9:00～17:40)
2009年4月	標準労働時間の短縮	7:30H (9:00～17:30)
2009年7月	『多様な働き方規程』施行	
2013年1月	在宅勤務制度施行～全従業員が利用できる制度に改正	
2015年5月	有給休暇の計画的取得促進をトップメッセージとして発信	
2016年9月	ノー残業デーの導入 (毎月第3水曜日)	
2016年12月	マイホリデー休暇の導入	
2017年3月	プレミアムフライデーの実施	
2017年5月	ノー残業デーの拡大 (毎週水曜日)	

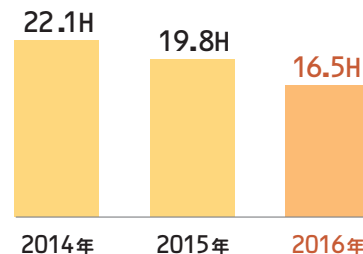
情報サービス業で先駆けて
取り組みを実施

この時点での在宅勤務導入
企業はまだ少なく9.1%

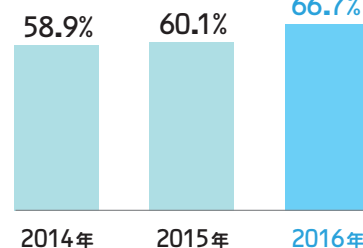
残業削減、有休取得奨励に
向けた取り組み

当社の取り組み状況

平均月間残業時間(法定外)



有給休暇取得率



2016年度の取得状況

プレミアムフライデー	15.2%
ノー残業デー	40.9%

多様なライフスタイルに合わせた働き方を支援

当社では、社員の柔軟な働き方をバックアップする「コアタイムなし」のフレックスタイム制度を基本の勤務形態としています。その他にも短縮勤務制度、在宅勤務制度、裁量労働制度を導入、男女問わず出産・育児・介護と仕事を両立できる制度を設け、社員が様々な制度を活用し、個々のライフスタイルに合わせた多様な働き方ができるように支援しています。

また、これらの取り組みにより、「子育てサポート企業」「テレワークを活用・推進する企業」として評価されています。

各種認定・受賞



2011年



神奈川子ども・子育て
支援推進事業者

2015年

2008年・2010年・2012年



次世代認定マーク
「くるみん」

2016年



テレワーク
先駆者百選

2017年



健康経営優良法人
ホワイト500



第17回テレワーク推進賞
会長賞受賞

フレックスタイム制度(1990年導入/全社員対象)		
在宅勤務制度(2013年導入/全社員対象)		
妊娠期	育児期	介護
短縮勤務制度※	短縮勤務制度(小学校卒業まで特別延長可)※	短縮勤務制度(最長3年)
母体保護休業※	育児休業(最長2年)※	介護休業(最長2年)※

※法定以上

自立的なキャリア形成のために

当社では、日々発展するIT業界の中で、イノベーション企業であり続けるためにトップクラスのスキルレベルを維持することを目的とし、以下の制度を導入しています。

キャリアパスを明確化してモチベーションの向上に繋げ、社員一人ひとりの能力を開発・発揮しやすい環境づくりに努めています。

自己啓発奨励制度	自己啓発(資格取得)による社員のスキルアップを促進
スペシャリスト制度	専門スキルをスペシャリストとして認定する制度 実務実績や資格取得により、認定レベルを5段階で設定(2017年12月末現在 995名認定)
プロジェクトマネージャー認定制度	プロジェクトのマネジメント実績を基にプロジェクトマネージャーとして認定する制度 プロジェクト規模により、認定レベルを5段階で設定(2017年12月末現在 931名認定)

積極的に新たな技術分野へ挑戦すると共に、新たなビジネス創出の為に人材育成

先進分野でのスキルを体系化し成長への基盤を整備

◆JDLAジェネラリスト検定(※1) 合格者=147名(※2)

(※1): 日本ディープラーニング協会(JDLA)が実施する「ディープラーニングを事業に活かすための知識を有しているか」を検定する試験

(※2): 保有者823名中147名が当社社員

新たなビジネス、高付加価値ビジネスへの人材創出

◆セキュリティ中核人材育成=79名(※3)

(※3): 情報処理安全確保支援士登録者と2017年秋期試験合格者の合計



株主優待に関するお知らせ

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝すると共に、より多くの株主の皆様に当社グループの事業に対するご理解を一層深めて頂くこと、また、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただくことを目的に株主優待を実施しております。

今回は、株主の皆様によりいづれか1点をお選び頂き、お届けいたします。

株主の皆様におかれましては、引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

贈呈
内容

当社製品の
はがき・住所録作成ソフト
「筆ぐるめ」

または

「しいたけ詰め合わせ」



※写真はイメージです

「筆ぐるめ」は「たのしく・かんたん・きれい」をコンセプトにしている、パソコン初心者でもかんたんに使えることで評判のはがき・住所録作成ソフトです。

当社特例子会社 富士ソフト企画株式会社
が、福島県耶麻郡西会津町で、農業のIT化、
農業の障がい者就労フィールドの2つをテーマとして、地元しいたけ農家と西会津しいたけファームを共同開設し、生産しているしいたけです。

贈呈
対象

2017年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上を保有する株主の皆様を対象として、株主優待を実施いたします。

単元株主様については、「株主優待のご案内」を本招集ご通知に同封しておりますので
ご参照ください。